

ゆめ・まち・みらい vol.20

阪急阪神ホールディングスグループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」情報誌
[2014年冬号(年4回発行)]



ぜひご家庭でもお読み下さい

地域社会との「知縁」を結び 自らの世界を広げてほしい

ゆめ・まち・みらい トップインタビュー

藤原 崇起

(阪神電気鉄道株式会社 代表取締役社長)

●ゆめ・まち基金 助成先レポート

「キッズ&子育て応援隊
MerryTime(メリータイム)」
「フリースクールみなも」
「MAMIE(マミー)」
「島本森のクラブ」

●グループ従業員の社会貢献活動レポート

「阪急交通社グループ」

●市民団体活動参加のススメ

「京都景観エリアマネジメント講座」



マイボトルをプレゼント!

詳しくは裏表紙へ

「阪急阪神 未来のゆめ・まち プロジェクト」とは

2009年よりスタートした、阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献プロジェクト。
「未来にわたり住みたいまち」づくりを方針に、「地域環境づくり」と「次世代の育成」の分野で、グループ会社や従業員、市民団体の皆さまとの様々な連携を通じて、活動を進めています。

阪急阪神ホールディングス グループ



こちら事務局

皆さまの意見を反映します!

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」選考アンケート
ご回答お願いします(1月下旬送付)

従業員有志の寄付を積み立て、会社からの同額寄付と合わせて阪急阪神沿線の市民団体を助成する「ゆめ・まち基金 市民団体助成プログラム」。5回目となる今年度の公募には、82団体からの申請をいただきました。ゆめ・まち基金にご参加の方には、1月下旬頃、選考アンケートを各社庶務担当を通じてお送りします。アンケートの結果は、本選考に加点いたしますので、ぜひご回答下さい!

なお、本選考における従業員代表は以下の方々です。

阪急電鉄 創遊事業本部 創遊統括部 / 大和正典さん
阪神電気鉄道 都市交通事業本部 運輸部 / 藤原豊宏さん
阪急交通社 CSR・コンプライアンス推進部 / 清水一成さん
阪急阪神エクスプレス グローバル統括本部 経営企画部 / 河西政人さん
阪急阪神ホテルズ 事業統括本部 総務人事部 / 稲垣勝敏さん

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」への参加は随時、受付中です。
皆さまのご参加お待ちしております!

※詳しくは、下記ホームページの「従業員向けページ」をご覧ください。

助成プログラム審査の流れ

12月4日
事務局による書類選考
1月下旬
基金参加者アンケート送付
2月2日
基金参加者アンケート締切
2月12・13日
会社・従業員代表による本選考
3月末
助成実施

「書き損じハガキ寄付プログラム」実施中!
ハガキ回収期間は1月31日(金)まで

「身近な社会貢献活動」として毎年実施している「書き損じハガキ寄付プログラム」。今年も皆さまから預かりしたハガキを切手に交換し、あしなが育英会に寄付します。ご家庭の書き損じハガキを、ぜひお寄せ下さい!

主な回収場所: ①阪急電鉄本社ビル 2F従業員食堂など
②阪神電気鉄道本社ビル 3・4・5・7Fエレベーター横通路など
③阪急交通社 各拠点(新橋・青葉台・大阪・名古屋・福岡)事務所
④阪急阪神エクスプレス 新橋事務所1Fメール室内
⑤大阪新阪急ホテル B2F従業員食堂
他グループ各社

※個人情報には必ず塗りつぶして入れて下さい。※切手への交換手数料は事務局が負担します。
※ポイント申請とあわせて事務局に社内便や郵便などでお送りいただいても結構です。

寄 付 先: 「あしなが育英会(あしなが東北レインボーハウス建設募金)」

病気や災害、自死(自殺)で親を亡くした子ども達に奨学金の貸与と心のケアの物心両面で支援する民間団体。その中でも、東日本大震災で親を亡くした子ども達のケアに取り組む「心を癒す家」「東北レインボーハウス」の建設費、運営費、心のケア活動費に寄付する。

回 収 結 果: 次号でご報告

ポイント申請: 書き損じハガキの寄付活動に対して社会貢献ポイント(5ポイント)付与。
下記URLの「TOPICS」より申請書をダウンロードし、2月末日までに、ご申請下さい。なお、期間中、何回ご寄付いただいても、申請は1回限りです。

※上記以外の回収場所など、詳しくは阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクトHP>従業員向けページ(<http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/group.html>)内トピックス欄をご確認下さい。

voice



普段ボランティア活動をしていなくても、この取り組みは、気軽に参加できます! 毎年、楽しみながら年賀状をつくらせている私にとって、少しでもひとの役に立てるといことも嬉しいです。(阪急阪神ビルマネジメント 人事総務部 大橋経子さん)



今日から始めたい

エコライフ

オフィスで、カフェで、レジャーで。
この冬、マイボトル生活を
始めませんか?

マイボトルとは「水筒」のこと。冷たいお茶から温かいコーヒーまで、おいしい温度でいつでも飲み物を楽しめるし、カフェへマイボトル持参で行くと割引してくれるところも…だから密かなブームです。またマイボトルがエコなのは、使用することでペットボトルや缶飲料をあまり買わなくなるからです。現在、ペットボトルのリサイクル回収率はまだまだ少ないのが現状。余分なゴミを出さないためにも、Let'sマイボトル生活!

各3名
さま マイボトルをプレゼント!

ご希望の方は下記事務局までメールでお申し込み下さい。メール件名を「マイボトルプレゼント希望」とし、本文に「希望タイプ(AorB)」「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらい感想」を明記して下さい。
応募締切: 2014年1月31日(金)

※商品紹介: a.d.r.e.s(アドレス)
(阪急電鉄 西宮北口駅改札内2Fコンコース・営業時間10:00~22:00)
A1,680円、B1,890円



編集後記

社会貢献とは企業の社会的責任(CSR)のひとつのありかた。お客さまと誠実に向き合い貢献することで、事業上の使命も見えてくるのですね。特集・藤原社長渾身のメッセージ、ぜひ一読を。(新美佳代)

今年も多くのグループ会社さまに「書き損じハガキ回収」にご協力いただけることとなりました。ハガキだけでなく、皆さまの温かいお気持ちもしっかりと寄付先にお渡ししたいと思います!(朝山千春)



「エコライフチェック」にご参加下さい!

年に2回、暮らしのエコ度をふりかえる「エコライフチェック」。チェック用紙をご提出いただくと、社会貢献ポイント(5ポイント)がたまります。今回から紙の用紙ではなく、WEBからダウンロードする形式に変更しました。以下のアドレスにアクセスしてチェック用紙を入手のうえ、メール送付・FAX・郵送等で事務局までご提出下さい。多くの方のご参加をお待ちしています!

<http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/group/up.html> (ゆめ・まちプロジェクトHP>従業員向けページ内トピックス欄)

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局 (阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)

shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174

ホームページ <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。

阪急阪神 ゆめ・まち

検索



阪神電気鉄道株式会社 代表取締役社長 藤原崇起

地域社会との「知縁」を結び
自らの世界を広げてほしい

今号は阪神電気鉄道株式会社の藤原社長に、
2013年にスタートした沿線活性化プロモーション「たいせつ」がギュッと。」、そして5周年を迎える
グループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」への思いを熱く語っていただきました。

まちで暮らす人々の活動に
寄り添って、共感して、応援する

「ゆめまち基金」では、これまでの助
成先が42団体に達したそうですね。グ
ループ従業員約900名が参加し、地域
の市民活動を応援してきた取り組みは
素晴らしいものだと思います。

沿線のまちを良くするためには、地域
社会との連携が大切です。企業が独自に
取り組むのもひとつですが、現に問題意
識を持って沿線で活動している人々が多
くおられるわけでしょうか。だったら、彼ら
に寄り添って、共感して、応援していくこ
と。これが大事ではないでしょうか。私達
にとっても将来の事業上の課題を見つめ
直す良い機会になります。昨年は新入社
員が研修の中で地域の方と協働して浜
の清掃に取り組んでいましたが、「ゆめ・ま
ち」と「たいせつ」から、まちを良くするた
めの新たな動きが今まで以上にどんどん
出てくることを期待しています。

社会と関わることで
元気になる、
それが社会貢献の醍醐味

「ゆめまちプロジェクト」のように、事
業から一歩踏み出して、企業が社会貢
献に取り組むことには2つの意義があると
考えています。ひとつは企業に求められ
る社会的責任を果たすことですが、もう
ひとつは、何よりも、従業員自身の成長
や喜びにつながり、企業が活気づくこと
です。例えば当社では、「ゆめまちプロ

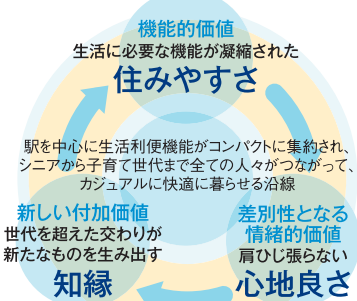


「たいせつ」がギュッと。

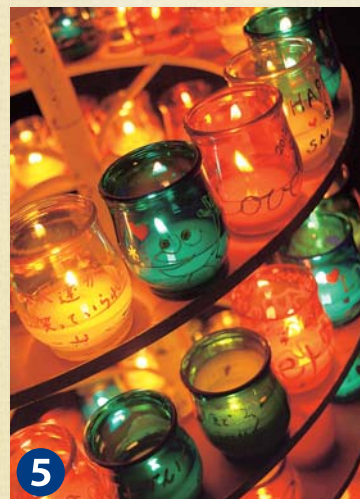
阪神電鉄 沿線活性化
プロモーションについて

2013年7月に始動した沿線活
性化プロモーション「たいせつ」がギュ
ッと。は、阪神沿線に培われてきた「住
みやすさ」「心地良さ」をさらに高めな
がら、世代を超えた交わりから新たなも
のを生み出す「知縁」を届けたいという
阪神電鉄の思いを、沿線の魅力ととも
に積極的に発信していく取り組みで
す。カラフルなシンボルマークは大切な
ものが凝縮されている沿線の魅力を
表しています。

すでに阪神電鉄では、藤原社長の
お話にあった「登下校ミマメルメ」や
「ソダッテ阪神沿線～新在家編」と
いった新たな取り組みのほか、駅のク
リーンアップ、駅周辺へのスーパーの
誘致など各部門の活動が、カラフルな
シンボルマークそのままに一貫性を保
ちつつ多彩に展開されています。

沿線活性化プロモーションにおいて
めざす阪神沿線の方向性

①阪神電鉄が沿線小学校に向けて
行う「尼崎車両基地の見学受け入
れ」②2013年度新入社員がゆめ・ま
ち基金の助成先「チーム御前浜・香
榎園浜 里浜づくり」のスタッフと協
働で、御前浜を清掃③六甲高山植
物園で開催する自然体験プログラ
ムでは子ども達に環境教育の場を
提供④子ども達に絵を描く機会を提
供する絵画コンテスト「ぼくとわた
しの阪神電車」⑤「1000000人の
キャンドルナイト@OSAKA CITY」も
ゆめ・まちプロジェクトの活動のひ
とつ⑥「ゆめ・まちチャレンジ隊」の
線路・架線の保守体験プログラムの
実施風景⑦従業員と役員がボラン
ティアで行う、ペイ・コミュニケー
ションズの地域清掃活動



沿線の活性化に向けて
まちの魅力を守り、高め、つくり、
増やしていく

阪神電鉄では、2013年7月より
「たいせつ」がギュッと。」というキャッチフ
レーズのもと、沿線の活性化に向けて新
たなプロモーション活動に着手しました。

私達が事業を営む阪神沿線は、190
5年に阪神間の集落を34の停留所で結
んで以来、お客さまにご利用いただくこ
とで形づくられてきました。2009年の
「阪神なんば線」開業でこの沿線の可能
性を実感した私達は、カラフルなハートの
モチーフと「たいせつ」がギュッと。」とい
うキャッチフレーズによって、沿線の魅力
を守り、高め、つくり、増やしていこうと
考えました。

しかしそのためには、沿線イメージを発
信するだけでなく、私達自身が事業を通
じて沿線を活性化するための取り組みを進め
ることが重要です。例えば「登下校ミマ
メルメ」は、こどもの校門通過情報を保護
者にメールで知らせるサービス。学齢期の
こどもを持つお母さんが安心して働け
ば、女性の就労支援にもつながります。
また「ソダッテ阪神沿線～新在家編」は、
駅高架下で飲食店を始める人を住民が
101万円のマイクロ投資で支える試み。
一人ひとりの力を束ねる手法は、まさに
「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」と同
じです。「たいせつ」も「ゆめ・まち」も、
「まちを良くしたい」という点で共通する
活動だと思っています。

プロジェクトの二環として、沿線のこども達
を対象に尼崎車両基地の見学受け入れ
や、線路・架線の保守体験プログラムを実
施しています。これは、こども達に学びの
機会を提供するものですが、一方で従業
員自身も元気をもらえるのです。「わあ、
すごいね！」と目を輝かせるこども達の
姿に、仕事の使命感ややりがいを感じ
る。そんな声をよく聞きます。

仕事で直接社会貢献に携わるきつかけ
がなくても、「ゆめ・まち基金」に参加し
て、様々な市民活動を支えることで、普
段は出会えない人と交流できたり、問題
意識が芽生えたりといった、自分の世界
が広がるのではないのでしょうか。「一歩踏
み出すことで、自分の中にわき立つもの
が生まれます。人と人が共感することで生
まれる縁：「知縁」という人生の宝物を
発見できるのが、社会貢献活動の醍醐味。
「知縁」こそがまちの活性化の鍵になる
と考えています。皆さんにも積極的に社
会貢献活動に関わることで、自ら知縁を
広げていってほしいと思います。

series
39

特定非営利活動法人 フリースクールみなも

不登校のこども達に
“居場所”と社会への架け橋を

好きなことをして過ごすのが基本です。こども達のリクエストで「お泊まり会」「旅行」「野球」などのイベントも開催。もちろん参加は自由。

いつ来ても、何をしてもいい。
まずは元気になってほしい。

少子化の時代にもかかわらず、不登校のこども達の数はここ10年ほど小中学生だけで全国約12万人と変わっていません。「みなも」の理事長である今川将征さんは、その原因をこう語ります。「日本の学校って、どこも基本的に同じですよ。45分授業が6限まであって、教えるのは9教科。馴染める子は問題ないです

が、合わない子は他に行き場がなく、不登校になりがちです。彼らに学校とは違う選択肢を提供したい！そんな思いが「みなも」設立へつながったそうです。

「みなも」にはカリキュラムやスケジュールは一切ありません。休む時も連絡は必要なし。基本的に11時から13時は学習の時間で、それ以降はゲームをしてもマンガを読んでも、何もしなくてもOK。「何らかの理由で学校に馴染めなかったこども達は、精神的に疲れています。まずは気軽に来てほしい、そして元気になってもらうことが必要なんです」

ここから巣立っていくための
受験や就業サポートも

何にも縛られない自由な場所である「みなも」は学習にも力を入れています。「心が元気になったこども達は、やはり勉強が気になり始めます。なので、通信制高校と提携して、ここに通いながら高校卒業資格を取得できるコースを設けています」。さらに近年、大学受験や高卒認



「親御さんがスクールに喜んで送り出してくれると、こどもの回復も早いですよ」。心が元気になると学習意欲もわいてきます。

理事長の今川将征さん



フリースクール「みなも」の活動に興味を持ったら…

賛助会員への応募、寄付はいつでも大歓迎です。賛助会員は1口3,000円/年。会報誌「みなも通信」が送られてきます。またボランティアも募集中。詳しくはウェブサイトの「募集・求む」をご覧ください。

〒530-0044 大阪市北区東天満1丁目4-3
TEL/FAX : 06-6881-0803

URL : http://homepage2.nifty.com/freeschool_minamo/

ゆめ・まち基金に
ありがとう!!

助成金の使途は2つあり、ひとつは全国のフリースクールが集まるイベント参加の経費として。もうひとつは立ち上げたばかりの学習塾事業の講師費用や交通費に。自由裁量に任せていただくことで有効に活用できました。

series
38

特定非営利活動法人 キッズ&子育て応援隊MerryTime (メリータイム)

思いきり遊ぶ、自由に遊ぶ。
そんな体験が“生きる力”に

2歳以上の幼児を対象に週2回活動する「わんぱくらんど」。親から離れて公園や体育館で、思いきり走ったり遊んだり。母親達にとっても、自分の時間を持つ貴重な機会に。

遊ぶことが
集中力と運動機能に

代表の永谷陽子さんが「わんぱくらんど」を始めたのは1994年。「お遊戯やお行儀を教える幼稚園とは違う、自由な遊び場が欲しかったんです」。だから外遊びを中心に、思いきり走ったり、どろんこになったり、時には段ボールで基地をつくったり…ダイナミックでアクティブ

なプログラムにこだわったとか。「不思議なことに、遊ぶことで集中力や運動能力も向上します。全力で遊んだ後にお話をするこどもはとてな先生に体力測定を実施してもらったところ、うちの子達の運動機能の高さに驚かれました」。自分のやってきたことに間違いはない、そう確信した永谷さんは、2007年にNPO法人「MerryTime」を設立しました。「こども達のためにも、長く続く組織にしなければ」と思っています。

楽しむことが
たくましく生きる力に

2012年、大阪府の新しい公共の場づくりのためのモデル事業としてスタートした新たな取り組みが「わくわく子ども村」。「わんぱくらんど」の精神はそのままに、幼稚園



「わくわく子ども村」の夏休みキャンプ。大自然のなかで、こども達の“生きる力”はぐくむ野外活動を行う。

児や小学生のこども達が放課後を通じてのための居場所です。箕面市船場のビルにスペースを借り、自由に過ごしたり、宿題タイムがあったり、日替わりのプログラムを体験したり。「お腹が空いたら自分達で料理もします。遊びながら、楽しみながら、自立できる人間力を育てるのが目的です」と永谷さん。夏休みには特別イベントやキャンプ、こども達自身で企画・運営するお祭りも開催し、毎日がおもしろい箱みたくです。「本気で遊んでいる時、こども達の顔は輝いています。そんな表情を見るのが私のモチベーションですね」と語る永谷さんの瞳もキラキラ。「スタッフも私も、自分が一番楽しんでいます。大人も、こどもも、遊びが基本！」

「MerryTime」の活動に興味を持ったら…

こども達と一緒に遊んだり、勉強を見守るボランティアスタッフは常時募集中です。こどもが好きな年齢不問、中高年の方も大歓迎。詳しくはウェブサイトからお問い合わせ下さい。

〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-10-4
TEL/FAX : 072-737-8109

URL : <http://merrytime.jimdo.com>

ゆめ・まち基金に
ありがとう!!

今回の助成金は「わくわく子ども村」の拠点維持するため、家賃に使わせていただきました。スタートしたばかりで資金も安定しなな、活動継続の勇気も一緒にもらえた気がします。

代表の永谷陽子さん(左)とスタッフの乾葉子さん(右)



グループ従業員の社会貢献活動

活動レポート 25

主 催： 阪急交通社グループ 社会貢献・環境保全委員会
活動内容： 間伐ボランティア 実施回数： 2008年より延べ14回



豊かな森林を、未来へ引き継ぐために

輸入木材の増加や石油燃料への転換：そうして放置された日本の森林が、今危機にさらされています。特に人間が利用してきた里山は、間伐などの手入れを怠るとたちまち荒廃してしまいます。2008年から阪急交通社グループでは、兵庫県篠山市、山梨県小菅村など全国4カ所で間伐ボランティアを実施。東京農業大学や地域の職員など、産官学が連携した取り組みです。これまで延べ500人以上の従業員が参加。実際にヘルメットをかぶって山へ入ることで、森が直面する現状を学ぶ、貴重な機会でもあります。

自然と向き合う貴重な時間に感謝。林業に精通された方々の貴重なお話を聞け、心身共に充実した日でした。阪急阪神ビジネストラベル西日本オペレーションセンター 出口 駿さん

充実した1日を過ごせました。地元の方々の、心のこもった手づくり昼食で疲れも吹き飛びました。阪急交通社 CSR・コンプライアンス推進部 小西 加奈子さん

終了の合図を聞いて、終わるのが残念な気分…。泥だらけで夢中になれるなんて、良い体験ができたなあと思います。阪急交通社 労働組合 星島 佳枝さん

初参加でしたが、皆さんの丁寧な説明で安全に作業できました。地元の温かい歓迎に感動しました。阪急交通社 統括部・業務課 前田 吉秀さん

木を切ることが森を育てるとは。間伐の意味を学びました。思った所へ木を切り倒すのは難しい…。阪急交通社 CSR・コンプライアンス推進部 前田 悦次さん



毎年参加していますが、最初の頃に比べて森が明るくなっているのがわかります。続けることはやはり大切ですね。阪急阪神ビジネストラベル管理部 中山 尚彦さん

自然の中での作業は重労働だと実感。林業の大変さ、木の偉大さ、間伐の意味など勉強になりました。阪急交通社 総務人事部 東辻 恵利子さん

地元や事務局のサポートで毎回、安心して作業できます。森がちゃんと成長しているのが印象的でした。阪急交通社 広報部 明石 純子さん

森が整備されスッキリしているのが一目瞭然。5回参加していますが、活動の手応えを感じます。阪急阪神ビジネストラベル西日本オペレーションセンター 宮岡 昌弘さん

青い空、澄んだ空気…自然の素晴らしさが味わえる活動です。心の洗濯もできて気分もリフレッシュ！阪急阪神ビジネストラベル大阪第二支店部 片桐 勉さん

市民団体活動参加のススメ

File 04 「京都らしい景観」を考えるきっかけに!!「京都景観エリアマネジメント講座」

「京都らしい景観とは？」京都を愛する方なら、一度は頭に浮かぶ疑問ではないでしょうか。様々な分野の専門家を招き、多面的に考察するこの講座で、京都のまちの特性や歴史を学び、景観について考えてみませんか？ また、現在、鴨川に架かる七条大橋の竣工百周年を契機とした「七条大橋百周年記念冊子」や「七条通界わいマップ」の制作も進行中。古都「京都」のさらなる魅力発信をめざし、私達と一緒にマップづくりにご協力いただけるボランティアも募集中です！ お気軽にお問い合わせ下さい。

日時・場所： 1/18(土) 13:30～18:00、京都市景観・まちづくりセンター
2/15(土) 13:30～18:30、職員会館かもがわ ※開催内容・場所等の詳細は下記URLご参照
参加費： 4,500円(各日)

お申込み・お問合せ先： 特定非営利活動法人 京都景観フォーラム ※お問合せは、下記URL内問合せフォームもしくはメール宛にお願いします。
京都の景観とそれを活かす暮らしの文化を、市民の視点と立場から広げていくことで、世界の人々があこがれる都市になることをめざして活動中。
FAX： 075-491-9663 E-mail： kyotokeikanforum@yahoo.co.jp URL： http://kyotokeikan.org



series 40

特定非営利活動法人 MAMIE (マミー)

障がい児が学び、自立することをサポートする



働く機会につながるよう、パソコン教室も運営。「障がい者の学ぶ場と働く場を増やそう」という目的へ向け、熱く多彩な取り組みを展開中です。

「MAMIE」の活動に興味を持たれたら…

〒532-0011
大阪市淀川区西中島3-20-8 新和ビル9F
TEL/FAX： 06-6885-4141
E-mail： mamie@mamie.jp
URL： http://www.mamie.jp/



聴覚障がい、発達障がい、ダウン症：様々なハンディを持つ子ども達の「学び」と「自立」を支援するのが「MAMIE(マミー)」です。中心となる活動は障がい児を対象とした学習塾「マミー学園」の運営。ここに通う多くの児童は学校の授業についていくことが困難です。そこで、学校だけでは理解しきれなかった勉強の遅れを取り戻し、将来の進学や就職へと繋がるよう、生徒一人ひとりに合わせた指導をしています。またこども達は学校の勉強以外にも、パソコンや絵画の描き方を学んだり、児童同士のふれ合いを通して成長していきます。代表者が聴覚障がい者ということもあり、当事者の視点に寄り添った姿勢は、メディアに取り上げられる機会も多く、人々の共感を呼んでいます。近年は聴覚障がい者の生活を介助する「聴導犬」を広める活動にも力を入れており、ただ今事務所では聴導犬のレオンくんが看板犬として活躍しています。

series 41

特定非営利活動法人 島本森のクラブ

里山を回復させることで故郷の未来を守りたい



里山整備活動には、家族連れも多数参加し、自然に親しんでもらっています。地元ガールスカウトと連携したイベント等、次世代の育成にも熱心。

「島本森のクラブ」の活動に興味を持たれたら…

活動拠点： 大阪府三島郡島本町内の山林
TEL/FAX： 072-626-0953 090-7364-1543(八里)
E-mail： info@morino-club.main.jp
URL： http://morino-club.main.jp/

大阪府下でありながら、土地の約7割が森林や竹林という島本町。豊かな自然がはぐくむ地下水に恵まれた「水源の森」としても知られています。しかし近年、後継者不足などの問題で放置林が増え、里山が荒廃しつつあるという問題が浮上。そんな郷土を守るべく、有志によって誕生したのが「島本森のクラブ」です。同クラブの主な活動は、ボランティアによる植樹、除伐、間伐。楽しみながら、五感で体験しながら、自然を守る意味を学ぼうをモットーに、月2回以上の積極的な取り組みを継続しています。2001年の発足当時から参加者も年々増え、現在は年間800名近くに。森林ボランティア育成講座を開催したり、こども達の里山整備体験をサポートしたり、行政と連携した活動にも熱心です。2011年にはNPO法人化、社会的責任を担う組織として新たな一歩を踏み出しています。